



令和7年 3月 1日
目黒区立ひもんや保育園長

♪あかりをつけましょぼんぼりに〜♪と園庭から歌声が聞こえてきました。4歳児クラスの子どもたちがベンチとマットを使ってひな壇を作り、並んで座り楽しそうに唄っています。その様子に周りの子はもちろんのこと、事務所にいた職員たちも笑みがこぼれていました。この日は5歳児クラスの子どもがひな人形を飾る予定で、用務職員がホールで準備をしている様子を見た子どもたちが、自分たちの“ひな人形”を楽しんでいたのです。今月は卒園式があります。式の練習をしている時にも園庭で遊んでいた2歳児クラスの子どもたちが5歳児クラスの歌声に惹かれ、自然とホールに入りじっと耳を澄ませて聞き、歌が終わると拍手をしていました。そしてお兄さんお姉さんが退場すると次は“僕たちの番”とばかりに音楽に合わせ堂々と退場していきました。

保育園は“昼間の兄弟”とよく言われますが、今年もクラスの枠を超え友達とのふれあいや関わりの中でお互いに刺激を受け合い、楽しいことを共有しながら成長した子どもたちの姿を見ることができたことを嬉しく思っています。一人ひとりの子どもが学校生活のスタートや進級に期待を膨らませられるよう、これからも見守っていきたいと思います。



3月の行事

卒園式（5歳児クラス）

お別れ遠足（3・4・5歳児クラス）

お別れ遠足（5歳児クラス）

クラス移動日

お別れ会（全園児）

中旬 身体計測・避難訓練



今年度の各クラスのテーマに添って

心も身体も大きくなった子どもたちの成長した姿をお伝えします



ひまわり組（5歳児クラス）

“みんなちがってみんないい”のテーマで一年を通して様々な活動の中で自分らしさを大切に、仲間との絆を深めてきました。制作遊びが好きな子どもたちが、それぞれ自分が食べたことのあるネタを思い出してお寿司を作り始めました。出来上がったお寿司を友達に振舞ううちに「もっとたくさんの人に食べてもらいたい」とみんなの寿司を合わせてお寿司屋さんごっこに発展しました。チケットを作る人、本物のチラシを見ながら新しいネタを作る人、注文を取る人、握る人など役割分担をしながら準備を進めていました。他クラスの子どもたちや大人も招待してお寿司屋さんを開店し「まぐろいっちゃん！」とお店の雰囲気も作っています。それぞれが自分なりの楽しみを見つけながら、友達と協力して遊びを広げていました。一人ひとりの個性が輝き、発想や得意なことを活かしながら共に考え、取り組んだ経験が子どもたちの成長に繋がっています。



つくし組（0歳児クラス）

本を手にとると保育士の膝に座り、絵を見て「ばす」「きんぎょ」など知っているものの名前を教えてください。保育士が「〇〇だね」と応える声に合わせて指を差し終わると「もっかい」と一本指を立ててリクエストです。何度もやり取りを繰り返し満足すると「まい（おしまい）」と絵本を閉じていました。別の日には部屋にきた用務職員に“読んで”と絵本を差し出し、膝に座り同じように楽しんでいました。“**第二のマイホーム**”を目指し一人ひとりの子どもの要求や気持ちを受け止め、言葉を代弁しながら同じことを満足するまで繰り返し遊べるよう見守ってきました。今では担任以外の大人ともやり取りを楽しんでいます。人との関わりを心地良いと感じ様々な興味や関心が広がっています。



すずらん組（1歳児クラス）

1人の子が天井に手を伸ばし両手を振っています。その後「ここ」と指を差して友達や保育士に「きらきら～」と発見を嬉しそうに知らせてくれました。友達も「きらきら」に気づいて手を振ろうとすると、側にあった机の上のかごに手が当たって「きらきら」が動き「あっ！」と驚いた表情を浮かべています。「なんだこれ」と、子どもたちが確かめるようにかごを動かして、陽が当たってできた模様をみんなで不思議そうに見つめていました。子どもたちの思いに寄り添い、満足いくまでやってみる気持ちを大切に見守ることで、自分なりに考えていろんなことを試してみる姿も増えてきました。「これなーに」と振り返ると保育士がいる、そんな安心感をもって友達や保育士と一緒に“**ふしぎ発見！**”を楽しむことが出来ました。



ちゅうりっぷ組（2歳児クラス）

井型ブロックで自分の経験したことを再現して楽しんでいます。ふと、周りの友達が作った物を見て「どうやって作ったの」「カッコいいね」と言い、同じ物を使ったり少しずつイメージを共有したりできるようになりました。作った消防車や救急車に人形を入れて、自分たちは運転士や消防士になりきってサイレンを鳴らしたり、消火活動をしたりして楽しんでいます。この1年“**レッツ・トライ**”の気持ちを大切に子どもたちの何でもやってみたい気持ちを尊重してきました。一人ひとりのやりたい思いを叶えてきたことで興味・関心が広がり、イメージを再現できる面白さや友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるようになりました。



たんぽぽ組（3歳児クラス）

“**とびだせ！たんぽぽ**”のテーマの通り、友達を誘い合うようにして部屋を飛び出し、朝も夕も元気に遊んできた子どもたちです。大好きな絵本“おおかみと7ひきのこやぎ”から始まったオオカミごっこではオオカミと子ヤギになりきって「とんとんとん、お母さんだよ」「その声はオオカミだ」とやり取りをしながら最後は追いかけてこになり、「次は子ヤギやる」とやりたい役を交代しながら何度も繰り返し楽しんでいました。初めての活動や行事にも参加し、ある時はフラガール、そしてある時は獅子舞やひょっとこになりきってすぐに友達と一緒に再現しています。何にでもなりきってのびのびと自由に表現することを友達と一緒に楽しんだ一年でした。



こすもす組（4歳児クラス）

友達と遊ぶ中で自分の思いがうまく伝わらず「もう遊ばない！」と言って離れてもやっぱり友達と遊びたくてもう一度そばにいたり、少し距離を置いてみたりとやりとりの中で思いのぶつかり合いや葛藤もたくさん経験してきました。その中で保育士がお互いの気持ちに耳を傾け仲介してきたことで、自分の気持ちを聴いてもらえる安心感の中友達に思いを伝えようと一歩踏み出す気持ち、伝わった嬉しい気持ちを経験してきました。その繰り返しの中で自分の気持ちに折り合いをつけたり、友達の気持ちに気づいたりするようになってきました。今では「ねえ何しているの？」「ここはこうしてみる？」と友達の遊びに興味をもち、アイディアを出し合いながら遊びを発展させて楽しんでいます。“**ホップ・ステップ・ジャンプ**”少しずつ仲間とやりたいことを楽しめるようになった姿に頼もしさを感じています。